

ライトレース競技説明

ライトレース^{きょうぎ}競技は、ロボカップジュニア^{きょうぎ}競技ではありません。

千葉ノード・オリジナル^{きょうぎ}の競技で、初心者^{しょしんしゃ}・入門者^{にゅうもんしゃ}向けです。

[1]^{さんかしかく}参加資格

- 小学生から高校1年生まで。
- 線^{せん}にそってロボットを動か^{うご}そうとすることが目標^{もくひょう}になるロボット入門者^{にゅうもんしゃ}。
- 1人でもいいですし2人^{いじょう}以上で1チーム^{さんか}での参加もできます。
- 千葉ノード大会^{ほか}の他の競技^{きょうぎ}に参加^{さんか}しない人。
- ロボットやパソコンなど必要^{ひつよう}なものを用意^{ようい}できるチーム。

[2]^{さんかひ}参加費

- 1チーム1,000円です。

[3]ロボット

- 25cm×25cmの正方形^{せいほうけい}に入る^{はい}大きさ^{おお}であること。
- プログラムを^{にゅうりよく}入力するタイプのロボットでなければいけません。
- 市販^{しはん}キットのロボットやライトレース専用^{せんよう}ロボットでも参加^{さんか}できます。

[4] コース

- 白のプラスチック段ボールに黒のビニールテープで線を引きます。
- 線が交わることはありません。となりの線とは 15cm以上、離れています。
- まっすぐな線となめらかなカーブだけです。

[5] 計測・判定

- 審判がストップウォッチで時間を計ります。
- ロボットの一部がスタートラインに入り始めてから、ロボットのすべてがゴールラインより先に進むまでの時間を計ります。
- ロボットのすべてが線から外れたらコースアウトです。
- コースアウトしたときは、すぐにコースアウトした場所の少し先に、選手が自分でロボットを置きます。コースアウトした回数だけ、20秒を記録時間に加えます。

[6] 競技の回数

- 3回、時間を計ります。

[7] 表彰

- 完走者全員に時間を記録した表彰状をわたします。